

平成 25 年度 離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：縄県

市町村名：名護市

協定終結集落名：名護（城、辺野古、汀間集落）

交付金額：23,120 千円（うち平成 25 年度交付金額 4,624 千円）

協定参加世帯数：34 名（うち漁業世帯 34 人）

2. 協定締結の経緯

本市の漁業は、県内でも有名なイルカ両をはじめとし、一本釣り、定置網、刺し網等様々な漁法を用いて営まれてきた。3 面の豊かな海域が広がりそれぞれ特色がある漁場は、漁業者がこれを保全するとともに周辺水域の有効利用を図ってきた。

しかし、自然環境の悪化などによる漁獲量の減少や魚価の低迷により、漁業者の所得が低下し、本市の漁業は一層衰退し、水産業・漁村における多面的機能も失われていく懸念がある。

このため本市は、漁業の基盤となる漁場の保全や利用に関する集落での話し合いを通じて集落機能を再編し、必要な場合は既存の慣行を見直し、漁場の合理的な利用や新技術・漁法の導入等に取り組める環境を整えるとともに、漁場環境の保全活動を継続的に実施する必要があることから、その取り組みの継続を下支えするために漁業再生支援交付金による更なる漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

・ウニ放流

資源回復、漁獲高向上を目指すために、藻場が豊富な海域へシラヒゲウニの種苗 10,000 個を放流した。

・シャコ貝放流

資源回復・漁獲高向上を目指すために、生息海域に埋め込み法でヒメジャコの種苗 1,000 個を放流した。

・漁場監視

資源保護と漁獲安定、密漁等を防止する為、海上からの監視活動を行った。陸上では、捕獲禁止生物の資料を配布し、啓発活動を行った。

- ・産卵場の整備

近年漁獲が減少しているアオリイカの産卵床を集落地先へ資源回復を目指し、18基設置した。

- ・海底清掃

漁場周辺海底の古い漁具や、空き缶等のゴミを回収し、清掃を行った。

- ・パヤオ製作設置

漁獲量安定を図るために、東側海域の既存パヤオ周辺に新たに1基設置した。

- ・新たな漁場開拓

地元で行われているイルカ漁は、これまでの漁場以外での目撃情報が多くある。今後の漁獲量向上を図るため、他海域の生息調査を行った。

②集落の創意工夫を活かした新たな取組状況

- ・魚食普及活動

漁家所得向上を図り、漁業集落を活性化させるために水産物直販所と連携し、桜まつり開催日にマグロ解体ショー試食会を実施した。

4. 取組の成果

- ・ウニ放流

藻場の豊富な海域に種苗放流を行うことで個体数の増加、資源の回復が期待できる。今後も継続して実施し、更なる資源回復を進めていく。

- ・シャコ貝放流

現時点では放流したばかりなので、今後追跡調査を行い経過観察する。定着すれば個体数の増加、資源回復が期待できる。

- ・漁場監視

年3回、3箇所、約20名にて実施。継続して実施していることで、漁業権や捕獲禁止生物等の周知向上が図られた。

- ・産卵場の整備

アオリイカの漁獲向上を図る為、産卵床を18基設置した。昨年設置している産卵床では産卵が確認できた。今後の資源回復に期待ができる。

- ・海底清掃

海域の海底を清掃することで漁場環境が良くなり、資源回復、漁獲量の向上に期待できる。

- ・パヤオ製作設置

パヤオは設置後3カ月以上経ってから魚が集まり始めるので追跡調査を行い、経過観察する。今後魚が集積されれば、マグロ類の漁獲量増加に期待できる。

- ・新たな漁場開拓

今回は2日間にわたり、従来の漁場とは異なる残波岬沖と伊江島沖の2箇所にてイルカの確認調査を行った。今後も継続して調査を行っていくとともに漁獲量向上に繋げていきたい。

- ・魚食普及活動

名護市さくら祭りと同日にマグロ解体ショー無料試食会を行い、子供からお年寄りまで多数の来場者に地元水産物の地産地消を推進することができた。今後の消費拡大に期待が持てる。



ウニ放流



シャコ貝放流



漁場監視



産卵場の整備



海底清掃



パヤオ製作設置



新たな漁場開拓



魚食普及

平成25年度 離島漁業再生支援交付金 実施状況

市町村名 | 名護市

協定締結集落名		名護			合計
1 集落協定締結数	一般・特認の別	一般			
	協定を策定した漁業集落数※ ①	3			
	協定参加世帯数	34			
	うち漁業世帯数	34			
	交付対象漁業集落数※ ②	3			
実施集落率 ①/②%		100			
2 集落協定に位置づけられた活動内容	漁場の生産力の向上に関する取組	7			7
	種苗放流	2			2
	漁場の管理・改善				
	産卵場・育成場の整備	1			1
	水質維持改善				
	植樹、魚付き林の整備				
	海岸清掃				1
	海底清掃	1			1
	漁場監視	1			1
	その他	2			2
	創意工夫を生かした取組	1			1
	新たな漁具・漁法の導入				
	新規漁業への着業				
	新規養殖業への着業				
	協業化による経営収支の改善・安全性の向上				
	低・未利用資源の活用				
	品質の均一化に向けた取組				
	高付加価値化				
	流通体制改善				
	簡易加工				
	海洋レジャーへの取組				
	伝統漁法の取組				
	漁労技術の向上の取組				
販路拡大					
その他	1			1	
3 交付金額とその使用方法（単位 千円）	交付金額(千円)	4,624			4,624
	うち前年度からの繰越額				
	集落協定の管理体制における担当者の報酬	120			120
	交付事務の委託料	200			200
	話し合い・備品に関する経費				
	漁場の生産力の向上に関する取組に要した経費	3,954			3,954
	種苗放流	737			737
	漁場の管理・改善				499
	産卵場・育成場の整備	499			
	水質維持改善				
	植樹、魚付き林の整備				
	海岸清掃				
	海底清掃	332			332
	漁場監視	348			348
	その他	2,038			2,038
	創意工夫を生かした取組に要した経費	350			350
その他雑費					
繰越額					

※ 「漁業集落数」とは、漁港を核として、当該漁港の利用関係にある漁業世帯の居住する範囲を、社会生活面の一体性に基づいて区切った範囲のうち、漁業世帯が4戸以上存在するものを計上する。(2003年(第11次)漁業センサスに準拠)